無断転載・無断複製を禁ず

2024年度後期（第14回）12月実施
キャリアコンサルティング技能検定

１級　実技（論述）試験

実 施 日 ◆ 2024 年 12 月 8 日（日）

試 験 時 間 ◆ 14：30～15：50（80 分）

★注意事項★

1. 本試験の出題形式は、記述式5問です。
   事例を読み、解答用紙の設問ごとに記述してください。
2. 解答用紙の受検番号・氏名に誤りがないか、確認してください。
3. 試験中は、受検票、腕時計（スマートウォッチの使用は不可、音を発しないもの）、筆記具（黒の鉛筆またはシャープペンシル（これ以外の使用は不可））、消しゴム以外のもの（定規、メモ用紙、筆記用具入れ等）は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受検票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験室内では、携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等すべての通信機器および電子機器、時計のアラーム等、音の出る機器は使用禁止です。必ず電源を切り、カバンの中などにしまってください。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は、失格となります。

【退出時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻 5 分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したまま静粛にお待ちください。

○　実技試験の合格は、論述試験および面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。
○　2025年3月19日（予定）に、受検者全員に合否通知書を送付いたします。
　　合格者は当協議会のウェブサイトに受検番号を掲載してお知らせします。
　　（https://www.career-kentei.org/result/）

厚生労働大臣指定試験機関
特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会
〒105-0021　東京都港区東新橋2丁目11番7号　住友東新橋ビル5号館9階　TEL03-5402-4688

次の文章は、事例相談者（B）が相談者（A）とのキャリアコンサルティングについて事例指導をうけるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙に記述すること。

試験問題で使用される用語について
＊**事例相談者**とは、キャリアコンサルタントのことを指し、自分が実施したキャリアコンサルティング（事例）に関して、面談過程、事例の見立てや対応方針、環境への働きかけ等について相談をする人のことです。
＊**相談者**とは、自らの進路相談、職業相談、人事労務に関する相談など、キャリアに関する相談に来た人のことで、事例に登場する人を指します。

【相談者（A）】
女性（43 歳）、大学卒業後、社員数約 500 人の広告会社に入社。マーケティング担当として 20 年勤務。今年の３月に退職し、現在は転職活動中。

【相談者（A）の職場や家族等の状況】
夫（46 歳）会社勤務、長男（18 歳）高校３年生、長女（15 歳）高校１年生の４人家族。Aは、２年前にマネージャーになった。メンバーはベテランが多く、当初は自分が担当するマーケティング業務に重点を置いて仕事をしていたが、昨年の４月から新卒の社員が２名入社し、マネジメント業務に追われるようになった。新人教育やそのフォローでかなり時間が取られるため、自分の仕事が後回しになり帰りが遅くなる日が増えたことで、夫から「これから子どもたちは大学受験で大事な時期なのに…」と心配されるようになった。そんな中、新人の１名が退職した。悩んだ末に自分も今年の３月に退職し、現在は転職活動中。Aは、広報誌で見かけた就職相談の窓口に相談に来た。

【事例相談者（B）】
女性（38 歳）、女性の雇用・就業を支援する施設において相談を受けている。キャリアコンサルタントの資格を取得し、現在相談歴３年。

【事例相談者（B）が相談したいこと】
Aの元気がない様子が気になったため、まずは丁寧に話を聴くことに努めた。Aは自己 PR に強い苦手意識を抱いており、不採用が続いてしまったとのこと。面接を受けると思うと気が重く、最近は転職活動もあまり積極的に行っていないとのことだった。自己 PR の見直しを提案したが、次回の予約はキャンセルとなり、その後Aからの連絡はない。自分の支援に何か問題があったのではと考え、指導を受けたい。

【相談事例】
Aはマネージャーになる以前、マーケティング担当として一定の成果を上げていた。昨年４月から新入社員２名を迎えたことで、日中はマネジメント業務に時間を取られてしまい、A自身が担当する仕事は後回しになる日が続いた。それまでは市場調査などをじっくりと行い顧客と向き合うこともできていたが、なかなかその時間も取れず、徐々に満足のいく結果が出せなくなったとのこと。そんな中、新人の１名が半年で辞めてしまったそうで、ショックだった気持ちが語られた。Aは残業で帰りが遅くなることが増え、家庭との両立も考えて、最終的には退職を選んだとのこと。再就職は目指したいが、自分のことが上手く話せないことが不安で、面接での自己 PR に対して強い苦手意識を抱えており、それが大きな壁となっているようだった。

Bは「一度、自己 PR の整理をしてみませんか」と提案したが、Aは「自己 PR はどうしても苦手で、面接のたびに自信がなくなっています」とのこと。子どもたちは２人とも大学進学を希望していることから学費を考え、家計を支えるために早く再就職したい

とは思っているが、採用面接で自分の強みに関することを聞かれると言葉に詰まってしまうため、就職活動になかなか前向きになれない状況が続いているという。またＡは、部長から「期待の新人なのでしっかり育ててくれ」と言われていたにも関わらず１名辞めたことについて、その期待を裏切ったと思っていること、ついてはマネージャーの経験は、面接で話せるような内容ではないと思っていることが明らかになった。またこんなに転職が大変ならば仕事を辞めるべきではなかったと、声を落として話した。

Ｂは穏やかにかかわりながら「自己 PR が苦手な人は多いです。一緒に整理することで、自信を持って面接に臨むことができますよ」ともう一度提案をした。続けて「自己 PR が改善されれば、再就職の可能性が大きく広がります。実は、私も苦手で就活には苦労しましたが、練習をして克服しました。早く再就職できるように、お手伝いしますので、ぜひ、もう一度チャレンジしてみませんか」と自己開示もしつつ励ました。Ａは少し考えた後「それなら、もう一度やってみようかな」と言いながらも、不安そうな表情は消えなかった。

Ｂは「では、次回の面談では具体的にいままでの経験をしっかり掘り下げて整理してみましょう。頑張りましょう」と伝えて、次回の相談の予約を取った。しかし、数日後、Ａから「バタバタしていて、いまは面談に行けません。また時間ができたら連絡します」とキャンセルの連絡が入った。それ以降、Ａからの連絡は途絶えてしまった。

【事例相談者Ｂの所感】

Ａの自己 PR に対する強い苦手意識に焦点を当て、話を丁寧に聴きながら家族への想いや置かれている状況を整理し、関係構築に努めた。Ａは面接の失敗も重なり更に自信を失っており、再就職への不安が強くなっていることから、Ｂとしては自己開示をし、共感的にかかわった。面接に失敗するケースとしては、強みを整理しきれていない場合が多く、Ａについても同様に自己 PR のための経験の整理が不十分であると感じたため、その提案をした。Ａもそれについては受け入れてくれたと思っていたが、次回の予約はキャンセルとなってしまった。自分の支援に何か問題があったのではないかと気になっている。

問１　相談者Ａが訴えた問題は何か、記述せよ。（10 点）

問２　あなたが考える見立てに基づき、相談者Ａ自身が問題を解決するために取り組むべきことは何か、記述せよ。（20 点）

問３　相談者Ａ自身が自分の問題を解決するために活用可能な社会的ネットワークは何か。相談者Ａの置かれた環境への働きかけについて関係機関や関係者との連携を考慮し、記述せよ。（20 点）

問４　事例相談者Ｂの相談者Ａへの対応について問題だと思うことは何か。事例に基づいて記述せよ。（25 点）

問５　問４で挙げた事例相談者Ｂの問題だと思うことの中から優先するもの一つを取り上げ、事例指導（またはスーパービジョン）における具体的な指導内容を記述せよ。（25 点）

© 2024, Career Consulting Conference